

## 1. 教育職員免許状の取得



## 1. 教育職員免許状の取得

### 1.1 教育職員免許状

教育職員免許状は、教育職員免許法(昭和 24 年法律第 147 号)に定める要件を満たした者に対し、本人の申請に基づいて都道府県教育委員会から授与されるものです。

### 1.2 取得できる教育職員免許状

本学部の教職カリキュラムにより取得できる教育職員免許状の種類は「高等学校教諭一種免許状(商業)」です。

### 1.3 基礎資格

基礎資格は、「学士の学位を有すること」です。学士の学位は、大学を卒業することにより得られます。卒業必要単位を修得してください。

## 2. 教職カリキュラム所属生

教職カリキュラム所属生は、同カリキュラムの定める科目を履修することができます。

教職カリキュラム所属生としての地位を失った場合は、それ以降、教職カリキュラム科目(「9. 教職カリキュラム科目表」参照)を履修することはできません。

### 2.1 教職カリキュラムについて

教育職員免許状の取得を目指す者のために、本学部には、教職カリキュラムが設けられています。この教職カリキュラムによって教育職員免許状を得ようとする者は、以下に説明する教職カリキュラムの所定の科目を履修し、単位を修得してください。このカリキュラムの内容は、教育職員免許法および教育職員免許法施行規則に基づいて本学部が定めたものであり、同法が定める単位数・教科とは異なる点がありますが、法定の科目内容および単位数を満たすことができるようになっています。

### 2.2 定員

1学年 20 名

### 2.3 教職カリキュラム所属生の募集と決定

1年次4月の履修登録前に教職カリキュラムガイダンスを開催し、希望者を募集します。ガイダンスの開催日時などは「掲示板」で通知します。

20 名を超える場合は、抽選により教職カリキュラム所属生を定めます。

### 2.4 追加募集

2年次 1Q 開始時点において、教職カリキュラム所属生が 20 名に満たない場合は、追加募集を行うことがあります。応募するには、同時点において次の表に定める単位を修得している必要があります。詳細は適時掲示します。

科目区分授業科目名等	最低修得単位数	備考
語学教育科目	6	英語(2単位)を含む
健康・スポーツ教育科目	2	
「情報処理 IA」	1	
「情報処理 IB」	1	
「基礎演習 I」	1	
「基礎演習 II」	1	
修得単位の合計	32	教職カリキュラム科目を除く

## 2.5 教職カリキュラム所属生継続の要件

2年次の終了時点において、一定の要件を満たすことができない場合は、教職カリキュラム所属生としての地位を失い、それ以降、教職カリキュラム科目を履修することはできません。

要件は、以下の表の通りです。定められた数以上の単位を修得してください。

### □ 2年次後期(3Q・4Q)終了時点

科目区分授業科目名等	最低修得単位数	備考
文部科学省令で定める科目	8	
専門基礎科目	3	
発展演習	1	
商業簿記 I	2	
商業簿記 II	2	
プログラミング	2	
教職カリキュラム科目 (職業指導論除く)	10	
修得単位の合計	64	教職カリキュラム科目を除く

## 2.6 教職カリキュラム所属生としての地位の喪失

以下の場合には、教職カリキュラム所属生としての地位を失い、それ以降、教職カリキュラム科目を履修することはできません。

- 2年次後期(3Q・4Q)の終了時点において、上記の教職カリキュラム所属生継続の要件を満たすことができない場合。
- 教職カリキュラムに関する掲示・通知等に対して期限内に応じない場合。ただし、特別の事情のある場合を除きます。掲示・通知等には充分注意してください。
- 後述の「教職カリキュラム履修カルテ」の内容から、教職カリキュラム所属生を継続する意思がないものと判断される場合。
- その他、教職カリキュラム所属生を継続する意思がないものと判断される場合。

教職カリキュラム所属生としての地位を喪失したときは、速やかに「教育職員免許状(商業)取得辞退

届」を提出してください。詳細は、経済学部係にお問い合わせください。

### 3. 教職カリキュラムの履修方法

免許状取得の前提となる基礎資格を得るために、大学卒業に要する単位を修得してください。これに加え、教職カリキュラムを構成する科目(以下、「教職関連科目」と呼ぶ)を履修し、単位を修得してください。

教職関連科目には、一般に本学部生が履修し、卒業必要単位に算入することができる授業科目と、教職カリキュラム所属生のみが履修でき、かつ、卒業必要単位に算入できない授業科目が混在します。後者を「教職カリキュラム科目」と呼びます。後述の「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」および「職業指導論」が「教職カリキュラム科目」にあたります。

### 3.1 修得すべき単位数

教職関連授業科目の最低修得単位数は、次の表のとおりです。

科目区分	最低修得単位数
文部科学省令で定める科目	8
教科及び教科の指導法に関する科目	24
教育の基礎的理解に関する科目	10
道徳、総合的な学習の時間等 及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8
教育実践に関する科目	5
大学が独自に設定する科目	12

本年度の開講科目および授業時限などについては、本章の「9. 教職カリキュラム科目表」、「XI. 授業科目表」および『教養教育科目、連携展開科目 履修手引』（別冊子）を参照してください。また、卒業必要単位への算入については、以下の表の「算入区分」欄の記載を参照してください。記述がある科目は、該当する区分において、卒業必要単位に算入できます。

### 3.2 文部科学省令で定める科目

次の表の科目を履修し、単位を修得してください。

科目分類	履修要件	対応する科目		最低修得単位数	算入区分
		科目名	単位数		
日本国憲法	必修	日本国憲法	2	2	教養科目 (基幹)
体育	選択必修	スポーツ実習 健康とスポーツの生理学的基礎 健康とスポーツの心理学的基礎	各 1	2	自由選択
外国語 コミュニケーション	選択必修	英語 IA 英語 IB 英語 IC 英語 ID 英語 IIA 英語 IIB	各 2	2	教養科目 (実践)
情報機器の操作	必修	情報処理 IA 情報処理 IB	各 1	2	教養科目 (実践)

### 3.3 教科及び教科の指導法に関する科目

次の表の科目を履修し、単位を修得してください。

- 教科に関する専門的事項

科目分類	履修要件	対応する科目		最低修得 単位数	算入区分
		科目名	単位数		
職業指導	必修	職業指導論	2	2	
商業の 関係科目	必修	商業簿記Ⅰ	2	6	専門教育科目 の各区分
		商業簿記Ⅱ	2		
		プログラミング	2		
	選択 必修	経営学	1	12 「3.7 大学が 独自に設定 する科目」に も留意	
		市場経済論A	1		
		市場経済論B	1		
		ミクロ経済学Ⅰ	2		
		マクロ経済学Ⅰ	2		
		国際貿易論A	1		
		国際貿易論B	1		
		国際金融論A	1		
		国際金融論B	1		
		財政政策総論Ⅰ	1		
		財政政策総論Ⅱ	1		
		金融論入門	1		
		応用金融論	1		
		現代の金融市場	1		
		現代の証券市場	1		
		金融政策論	1		
		現代の金融政策論	1		
		現代日本経済論	2		
		流通システム論A	1		
		流通システム論B	1		
		マーケティング論	2		
		民法〔総則〕A	1		
		民法〔総則〕B	1		
		管理会計論A	1		
		管理会計論B	1		
		管理会計論C	1		
		管理会計論D	1		
		IT基礎	1		
		経営情報システム論	2		
		ネットワーク分析	1		
	消費者心理学	2			
マーケティング・リサーチ	2				
マーケティング戦略論	2				
会社法各論〔株式等〕A	1				
会社法各論〔株式等〕B	1				
情報システムデザインⅠ	1				
情報システムデザインⅡ	1				
会計学原理Ⅰ	1				
会計学原理Ⅱ	1				
会計学 A	1				

	会計学 B	1	
	会計学 C	1	
	会計学 D	1	
	ビジネスモデルデザイン	2	
	労働経済論(労働市場)	1	
	労働経済論(雇用システム)	1	
	人的資源管理論A	1	
	人的資源管理論B	1	
	企業倫理論A	1	
	企業倫理論B	1	
	地域産業論A	1	
	地域産業論B	1	
	コーポレート・ガバナンス論	2	

- 各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)

履修要件	科目名	単位数	最低修得単位数	算入区分
必修	商業科教育法 I	2	4	
	商業科教育法 II	2		

### 3.4 教育の基礎的理解に関する科目

次の科目を履修し、単位を修得してください。

- 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想

履修要件	科目名	単位数	最低修得単位数	算入区分
必修	教育学概説S	2	2	

- 教職の意義及び教員の役割
- 教員の職務内容(チーム学校運営への対応を含む)

履修要件	科目名	単位数	最低修得単位数	算入区分
必修	現代教職論S	2	2	

- 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項  
(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む)

履修要件	科目名	単位数	最低修得単位数	算入区分
必修	教育制度と社会	2	2	

- 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程

履修要件	科目名	単位数	最低修得単位数	算入区分
必修	教育心理学S	2	2	

- 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解

履修要件	科目名	単位数	最低修得単位数	算入区分
必修	特別な教育的ニーズの理解と支援S	2	2	

### 3.5 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

次の科目を履修し、単位を修得してください。

- 総合的な学習の時間の指導法

履修要件	科目名	単位数	最低修得単位数	算入区分
必修	総合的な学習の時間の指導法S	2	2	

- 特別活動の指導法

履修要件	科目名	単位数	最低修得単位数	算入区分
必修	特別活動・教科外活動論(中等)	2	2	

- 教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む)
- 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む)

履修要件	科目名	単位数	最低修得単位数	算入区分
必修	中等教育の課程と方法	2	2	

- 生徒指導の理論及び方法
- 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法

履修要件	科目名	単位数	最低修得単位数	算入区分
必修	生徒・進路指導論(中等)	2	2	

- 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法

履修要件	科目名	単位数	最低修得単位数	算入区分
必修	教育相談の基礎と方法(中等)	2	2	

### 3.6 教育実践に関する科目

次の科目を履修し、単位を修得してください。

#### 3.6.1. 教育実習

- 教育実習(4年次に履修してください)

履修要件	科目名	単位数	最低修得単位数	算入区分
必修	教育実習事前・事後指導	1	1	
必修	教育実習	2	2	

教育実習事前指導を履修しない者は、教育実習に参加することができません。

#### 3.6.2. 教職実践演習

- 教職実践演習(4年次後期(3Q・4Q)に履修してください)

履修要件	科目名	単位数	最低修得単位数	算入区分
必修	教職実践演習(高)	2	2	

### 3.7 大学が独自に設定する科目

大学が独自に設定する科目「3.3 教科及び教科の指導法に関する科目 ●教科に関する専門的事項」を、上記の最低修得単位数に加えて、さらに12単位以上修得してください。

## 4. 教育実習

### 4.1 教育実習ガイダンス

3年生を対象に、教育実習を依頼する際の注意事項などを説明します。5月に行う予定です。開催日時などの詳細は適宜掲示・通知します。

### 4.2 教育実習校および日程・担当科目

- 教育実習を依頼する先は、原則として経済学部協力高等学校です。
- 教育実習の依頼については、経済学部係から適時指示します。教育サポートシステムまたは掲示板には常に目を通して下さい。
- 教育実習を依頼した高等学校から内諾を得たあとで、辞退することはできません。
- 教育実習の期間は2週間です。
- 教育実習が行われる日程、担当教科などは、教育実習校が定めます。教育実習校の指示に従ってください。

### 4.3 教育実習の履修資格

「教育実習事前・事後指導」の履修登録をしており、かつ、当該事前指導を既に履修していなければいけません。日商簿記3級、ITパスポートの資格を取得していることが望ましいです。

## 5. 教職実践演習

教職実践演習では、教員として求められる知識の確認と定着、スキルの熟達化を促すとともに、豊かな教育意識の涵養を図ります。また、この過程を通して「教職カリキュラム履修カルテ」をもとに、4年間の自らの学びを振り返り、教員としての自らの育ち、成長とこれからの課題を確かめるとともに、教員就職へ向けての意識づけを行います。

授業は時間割上、4年次後期(3Q・4Q)に位置づけて行いますが、模擬授業など一部は、集中講義として実施します。詳細は適時掲示・通知します。

## 6. 教職カリキュラム履修カルテ

教職カリキュラム所属生となり次第、「教職カリキュラム履修カルテ」の作成・記入を始める必要があります。「教職カリキュラム履修カルテ」は、教職カリキュラムに基づく学習等について記録し、教員を目指す自らの成長の手がかりとして活用するための冊子です。必要事項を常に記録して、定期的に検認を受けてください。詳細は適時掲示・通知します。

## 7. 教育職員免許状の申請

教育職員免許状の交付を受けるためには、教育委員会への申請が必要です。本人自ら申請を行う個人申請と、大学が申請を代行する一括申請があります。本学経済学部のある学生または本学大学院経済学研究科に早期卒業もしくは飛び級により進学した者であって、かつ、本教職カリキュラムに従って所定の科目の単位を修得した者については、「教育職員免許状授与願」等の文書を和歌山県教育委員会に経済学部係から一括して提出します。詳細は適時掲示・通知します。

## 8. その他

教職カリキュラムから転出する場合には、速やかに「教育職員免許状(商業)取得辞退届」を提出してください。詳細は、経済学部係に問い合わせてください。

ここに記載された経済学部教職カリキュラムとは別に、本学には「教育職員免許状取得コース」という制度があります。詳細は、学務課教育学部係に問い合わせてください。

## 9. 教職カリキュラム科目表

この表に掲載されている授業科目は、令和2年度に開設予定の授業科目です。

No	授業科目名	担当教員	開講期間	曜日 時限	単 位 数	免許法で定める科目区分	要修得 単位数
1	教育学概説S	土田 陽子	前期 (1Q)	金 4、5	2	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	必修 2
2	現代教職論S	藤田 直子	前期 (1Q・2Q)	木 4	2	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む)	必修 2
3	教育制度と社会	馬場 一博	前期 (2Q)	金 4、5	2	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む)	必修 2
4	教育心理学S	竹田 真理子	前期 (1Q・2Q)	金 2	2	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	必修 2
5	特別な教育的ニーズの理解と支援S	小川 修史 古井 克憲	後期 (3Q・4Q)	集中	2	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	必修 2
6	総合的な学習の時間の指導法S	藤田 直子	後期 (3Q・4Q)	木 4	2	総合的な学習の時間の指導法	必修 2
7	特別活動・教科外活動論(中等)	舩越 勝	後期 (3Q・4Q)	水 2	2	特別活動の指導法	必修 2
8	中等教育の課程と方法	豊田 充崇 二宮 衆一	前期 (1Q・2Q)	水 1	2	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む)、教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む)を含む。	必修 2
9	生徒・進路指導論(中等)	上野 和久	前期 (1Q・2Q)	月 1	2	生徒指導の理論及び方法(進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む)	必修 2

10	教育相談の基礎と方法(中等)	坂田 真穂	後期 (3Q・4Q)	集中	2	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む)の理論及び方法	必修 2
11	職業指導論	上野 和久	後期 (3Q・4Q)	月 1	2	職業指導	必修 2
12	商業科教育法 I	上野 和久	前期 (1Q・2Q)	月 2	2	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)	必修 4
13	商業科教育法 II	上野 和久	後期 (3Q・4Q)	月 2	2		